

子どもの心へ届けたい本

平成 27 年度 神奈川県児童福祉審議会推薦

優良図書

1 幼児以上対象

おかあさん だいすきだよ

男の子はお母さんが大好き。でもお母さんは、服を汚して帰宅した時や、なかなかお風呂に入らない時など、叱ってばかりいる。優しい言葉をかけてくれたり、抱きしめてくれたらもっと大好きになれるのに、と思う。そしてお母さんも男の子が大好きなのに、叱ってばかりで済まないと思っ

みやにしたつや / 作・絵
金の星社 1,200 円 (税別)



おばけもこわがるおばけ

夏も真っ盛り。おおにゅうどうはあまりの暑さに、「ものども。ぞ、ぞーっとさむくなるようなおばけにはけんかい!」とおばけ達を怒鳴りつける。そして、「ばけちやうぞ。ばけちやうぞ。おばけがおばけにばけちやうぞ」と呪文を唱え、おばけもこわがるおばけの姿に変身する。かっぱ、ばけねこも後に続き…。

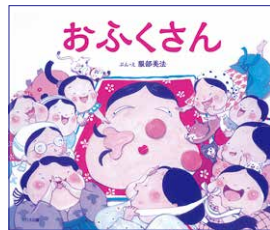
内田麟太郎 / 文・西村繁男 / 絵
童心社 1,300 円 (税別)



おふくさん

山の奥深く、にこにこ仲良く暮らすおふくさんたちのもとに、鬼が「こわがらせてやるぞ!」とやってくる。しかし、おふくさんたちは平気のへっちゃら。「こわい かおは つまらない! おにさん、いっしょに わらいましょ」と、鬼を笑わせようとする。

服部美法 / 文・絵
大日本図書 1,300 円 (税別)



くまちゃんせんせい

あさ ほうくえんに いくと…、せんせいが くまちゃんでした。楽しくて優しくくまちゃんせんせいとの楽しい保育園の一日を描いた作品。

マリーニ*モンティーニ / 作・絵
小峰書店 1,000 円 (税別)



こうえんの パクンおばけちゃん

おかあさんと散歩に出かけたりさちゃん。風が強く公園はからっぽ。よく見ると、白い大きなおばけが、ふわふわと飛んでいる。追いかけてこして遊び始めると、ふわふわおばけはお菓子の包み紙や空き缶を大きな口でパクン。「もっとほしいな」と言われたりさちゃんが公園に転がっている缶や空き缶を差し出すとパクンパクン。ふわふわおばけはお腹がいっぱい。おかあさんに口を結んでもらい、お昼寝をしに、一緒にスキップしながらおうちに帰る。

しらたにあけみ / 作・かわむらすずみ / 絵
銀の鈴社 1,400 円 (税別)



すすめ! きゅうじょたい

ぼくたち6人は救助隊。災害や事故で困っている人々を助けるんだ。ショベルカー、高所作業車、ダンプカー、ホイールローダー、クレーン車、ヘリコプターに乗ってさあ、出発。木に登って降りられなくなった熊の子、谷間に落ちた羊、事故で横転したトラックを次々に救出していく。がけ崩れの土砂を片付けていたら、亀の子を掘り出したので、母亀の所に返してあげたら…。

竹下文字 / 文・鈴木まもる / 絵
金の星社 1,200 円 (税別)



まいごになったねこのタビー

猫のタビーは子猫の時から、ふわふわスリッパのおばあさんと暮らしている。ある日、おばあさんは引っ越しをすることになった。しかし、引っ越しの日、タビーはひとり家に取り残されてしまう。タビーは必死に引っ越しトラックを追いかけ、気が付くと森の中で迷子になっていた。タビーの新しい家探しははじまる。

C・ロジャー・メイダー / 作・絵・齋藤絵里子 / 訳
徳間書店 1,600 円 (税別)



もりのホテル

森の中の大きな木にある、あらいぐま一家の「もりのホテル」。へびやくま、20羽もの小鳥たちなど、訪れるお客は様々。支配人のおじいさんはそれぞれの動物たちにあった一番のお部屋を選ぶ。花いっぱい庭で食事もおいしい人気のホテル。動物たちの笑顔が溢れている。

ふくざわゆみこ / 作・絵
学研プラス 1,300 円 (税別)



2 小学校低学年以上対象

あまのじゃくに かんぱい!

ちょっぴりあまのじゃくのおばあちゃんは、夏休みの4日間、4人の孫のために「いじわる教室」を開く。おばあちゃんの授業は、草むしり、昔ながらの洗濯、五右衛門風呂の水汲みなど、便利な生活に慣れた子どもたちにはやりたくないことばかり。音をあげながらもひとつひとつ達成していき、最後に「おばあちゃんのいじわるにかんぱい!」と感謝の言葉で締め括りとなる。

宮川ひろ / 作・小泉るみ子 / 絵
童心社 1,100円 (税別)



おかあさんのいのり

「この かわいい でも いつか かあさんのてをつつみこもほど つよく おおきくなるでしょう その てが どうか 鏡などにぎりませんように」
おかあさんのこどもにかける愛情、平和へのねがいをこめておくる歌。

武鹿悦子 / 作・江頭路子 / 絵
岩崎書店 1,400円 (税別)



おねしょの かみさま

毎晩のおねしょに悩む男の子。おねしょをしてしまった朝、男の子のもとに現れ、踊りを踊るへんなおじさんは、おねしょのかみさまだった。男の子は、おねしょのかみさまにおねしょをしないおまじないを覚えてもらうのだが…その結末は? ほっこりするオチが待っている。

長谷川義史 / 作
学研プラス 1,300円 (税別)



おはなみ

たくさんの人がおはなみをした次の日、公園にはごみを拾うミキの姿があった。そこへハルトがやってきた。「ねえ、ハルトくん、そこで みるの? それとも てつだってくれるの?」とミキ。きれいになった公園の満開のサクラの木の下で二人は素敵な約束をする。

くすのきしげのり / 作・まるやまあやこ / 絵
あかね書房 1,300円 (税別)



ジャガーとのやくそく

世界で初めてジャガーの保護区をつくった著者による自伝的なノンフィクション絵本。吃音に悩み、周囲から理解されず孤独だった少年時代、動物たちとの絆だけが心の支えだった。やがて、努力と勇気で吃音の障害を乗り越え、物言えぬ動物たちの代弁者となって、子どもの頃の約束を果たす。

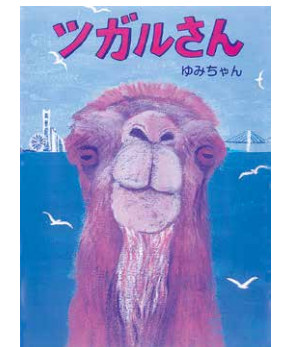
アラン・ラビノヴィッツ / 作
カティア・チエン / 絵・美馬しょうこ / 訳
あかね書房 1,400円 (税別)



ツガルさん

世界で一番長生きしたフタコブラクダのツガルさんのお話。閉鎖された青森県の観光牧場にひとりぼっちで暮らしていたところを、やさしいおじさんが、ツガルさんがいつも笑顔でいられるようにと受け入れ先を探してくれた。そしてやってきたのが横浜市野毛山動物園。野毛山動物園にやってくるや人気者になったツガルさん。子どもから大人までみんなに愛されたツガルさんの日常をツガルさんの視点で描いている。

ゆみちゃん / 絵・文
神奈川新聞社 1,200円 (税別)



ツツミマスさんと3つのおくりもの

ツツミマスさんのお仕事は包むこと。「なんでもかんでも〜つつんじゃ〜つつんでみせます〜つつみます〜」。何でもすきに包んでくれるので、お店にはトカゲや雪男やおばけの女の子などがやってくる。ツツミマスさんが包むと…。どんな包みも、あら不思議。あなたもきつと包んでもらいたくなるはず。

こがしわかおり / 作
小峰書店 1,100円 (税別)



ハリーと うたう おとなりさん

犬のハリーは、近所に住む人はみんな好きだが、おとなりさんだけは好きになれない。なぜなら、おとなりさんが歌を歌う声が、とても高くて大きいからだ。おとなりさんの声を聞くと耳が痛くなってしまうハリーは、町の動物や人を巻き込み、なんとかして歌をやめさせようとする。

ジーン・ジオン / 文
マーガレット・プロイ・グレアム / 絵・小宮由 / 訳
大日本図書 1,400円 (税別)



ペンギンは、ぼくのネコ

小学三年生のアルフィーは「ペンギン」という猫を飼っている。内緒で隣のお婆さんの庭で楽しく遊んでいたが、ある日、お婆さんの孫のグレースが越えてきて、ペンギンを取ろうとし、加えて庭で遊ぶことも禁じる。反発し合う二人だが、ペンギンがいなくなることでお互いを見直し、友情へと変わっていく。

ホリー・ウェブ / 作
田中亜希子 / 訳・大野八生 / 絵
徳間書店 1,400円 (税別)



マララさん こんにちは 世界でいちばん勇敢な少女へ

教育の権利を訴えたマララ・ユスフザイに宛てて、世界の子どもたちが送ったメッセージを、国際NGO「プラン」が、世界各地で撮影した子どもたちの写真を添えて綴った写真絵本。

ローズマリー・マカーニー / 文・西田佳子 / 訳
西村書店 1,200円 (税別)



マララとイクバル パキスタンのゆうかな子どもたち

教育の権利を訴えたマララ・ユスフザイと、債務児童労働問題を訴えたイクバル・マシー、二人のパキスタンの子どもの実話をもとにした絵本。

ジャネット・ウィンター / 作・道傳愛子 / 訳
岩崎書店 1,600円 (税別)



小学校低学年以上対象 計11冊

3 小学校中学年以上対象

あしをなくしたウミガメ悠ちゃん 人工ヒレで泳げるように!

2008年6月、紀伊水道で1匹のアカウミガメが見つかった。漁師の網にひっかかっていたそのカメは、サメに襲われた直後のようで、前足が食いちぎられている。悠と名付けられたカメに人工ヒレを作り、泳げるようになるまでの5年間をまとめた動物感動ノンフィクション。

中谷詩子 / 文・蔵前りつ子・堀江篤史
学研プラス 1,300円 (税別)



ジェーンとキツネとわたし

エレーヌには今日も居場所がない。些細なことからクラスでの居場所を失ってしまった彼女は、シャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』の世界にのめりこんでゆく。そんな中、学校のクラスで合宿に行くことになる。いろんな子のグループができるが、エレーヌは友だちのいない子のグループに入ることになった。居心地の悪さを感じるエレーヌだが、小さな変化が起こり始める。

イザベル・アルスノー / 絵
ファニー・ブリット / 文・河野万里子 / 訳
西村書店 2,200円 (税別)



捨て犬 その命の行方 救われたがけっぶち犬の その後の物語

徳島県動物愛護管理センターで保護された「がけっぶち犬」のその後の物語。マスコミに大きく取り上げられ一躍有名になった「がけっぶち犬」。しかし、保護された後に待っていたものは野犬として育った現実。獣医師などの努力により飼い主が見つかるも、再びセンターへ戻ってきてしまう。「がけっぶち犬」を通して犬の幸せとは何か、そして殺処分の現状を訴える。

今西乃子 / 文・浜田一男 / 写真
学研プラス 1,300円 (税別)



へなちょこ探偵 24じ

父と二人で暮らす主人公・矢間鯨彦（やま しゃちひこ）は、ある事情で転校先の学童保育所を追い出されてしまう。学童保育に行けなくなり、遊ぶ友人も皆塾に行ってしまった放課後、鯨彦は町で白いスーツの探偵・24じと出会う。

齊藤飛鳥 / 作・佐竹美保 / 絵
童心社 1,600円 (税別)

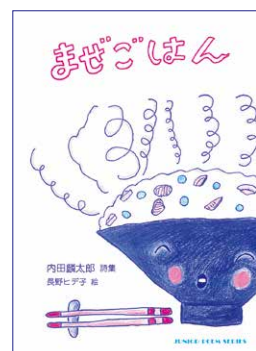


まぜごはん

著者5冊目の少年詩集。ひらがなを基調に、平易なことばでつむがれている。第I部は物語のある詩17編が、第II部には言葉遊びの詩25編がおさめられている。

かなしくてうみへいった / かなしくてうみをみてきた / かなしみもわたしも / ゆうひにそまったかなしみはかなしみのままだったけれど / こころはあったがいろいろにそまっていた (「ゆうやけ」より)

内田麟太郎 / 詩・長野ヒデ子 / 絵
銀の鈴社 1,200円 (税別)



めがせ! 災害救助犬 被災犬「じゃがいも」の挑戦

東日本大震災直後に福島県飯館村で生まれ被災犬となった「じゃがいも」。生後45日で日本動物介護センターへ引き取られ、災害救助犬を目指すことになる。試験に落ちてもあきらめず、一步步成長する「じゃがいも」の姿を描く。また被災地で離ればなれになった飼い主と犬のさまざまな姿も伝える。

山口常夫 / 文
岩崎書店 1,300円 (税別)



ものだま探偵団3 ルークとふしぎな歌

ものについた魂、「ものだま」が起こす事件を解決していく、ものだま探偵団シリーズ3作目。英語教室に通い始めてから、聞き覚えのない歌を歌う七子。同級生や先生も同じ歌を歌うため、「ものだま」の仕業かもしれないと、七子は親友の鳥羽と原因を探しに行く。英語教室で二人が見つけたチェス盤。その駒は鳥羽の天敵の律が持っている「ものだま」付きのルークにそっくりだった。

ほしおさなえ / 作・くまおり純 / 絵
徳間書店 1,500円 (税別)



小学校中学年以上対象 計7冊

4 小学校高学年以上対象

あまねく神竜住まう国

平治の乱で父が敗れたため、源頼朝が15歳で一人伊豆の流刑地に流された史実を題材にした空想小説である。物語は、流刑地で生きる希望もなく暮らす頼朝のもとに、彼の未来を繋ごうと客人が訪れるところから始まる。大蛇の棲む洞窟に投げ込まれ、土地神である竜と対峙することを通して、自分と向き合いながら、頼朝は伊豆の地に根を下ろしていく。徳間書店20周年記念作品。

萩原規子 / 作
徳間書店 1,600円(税別)



一年後のおくりもの

キャリアは一年前に亡くなったお母さんのお墓参りのときから、お母さんの幽霊が見えるようになった。そして銀色の犬、ホームレスの知り合い、引越し、障害のある友達…。お母さんの幽霊は何を伝えたいのか？悲しみから立ち直れない家族の心の再生を描いた、心温まる物語。

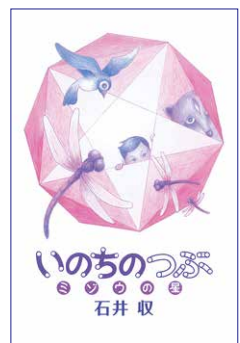
サラ・リーン / 作・宮坂宏美 / 訳・片山若子 / 絵
あかね書房 1,500円(税別)



いのちのつづーミゾウの星ー

2070年秋、小学五年生の少年ノゾミが遠足で訪れた山で三つ目のタヌキと遭遇。タヌキを追いかけた先は地球とは異なるミゾウの星。暮らしているのは羽の短いトンボや足が曲がった馬、耳のない少女たち。原因は放射能だと伝えるタヌキ。原子力発電と放射線の危険性について語るイチル様。命と愛の大切さを伝えるイチル様の願いを託されて、ノゾミは地球へと帰る。

石井収 / 著・つのださとし / 絵
銀の鈴社 800円(税別)



ウソつきとスパイ

父親が失業し、家売って家族でマンションに越したジョージ。母親は看護師だが夜勤続きで顔を合わせる時間がない。学校には嫌がらせをしてくるクラスメイト、幼なじみとも最近疎遠…そんな鬱屈した毎日過ごしていた彼はある日、同じマンションに住む風変わりな少年、セイファーと出会う。セイファーは、マンション内に悪人がいると言い、ジョージにスパイの訓練を始める。

レベッカ・ステッド / 作・樋渡正人 / 訳
小峰書店 1,500円(税別)



すしのひみつ

みんな大好きなお寿司。その歴史を通じて、お寿司とは何かを探っていく。実は日本生まれじゃなかったというびっくり知識に始まり、江戸時代のお寿司の大改革、江戸のお寿司が日本全国に広がっていった理由など、お寿司の移り変わりからお寿司とは何かを考える本。

日比野光敏 / 著
金の星社 1,300円(税別)



世界の学び舎 こんにちは！ 12歳のネットワーク

1996年から2012年にかけて訪ねた世界94カ国の学校で、そこへ通い、遊び、授業を受ける子どもたちのいきいきとした姿を、撮影した写真とともに綴ったフォト・エッセイ。

井上直也 / 文・写真
西村書店 1,800円(税別)



小学校高学年以上対象 計6冊
平成28年1月28日推薦優良図書 計32冊

神奈川県児童福祉審議会では、青少年の皆さんに読んでいただきたい本の推薦を行っています。(平成28年1月28日推薦)

心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことです。青少年に勧めていただく際の参考としてご活用ください。

神奈川県児童福祉審議会の審議にあたり、神奈川県読書推進会には情報提供をお願いし、県立図書館には予備調査を実施していただくなど、ご協力いただきました。

問い合わせ先 神奈川県県民局次世代育成部青少年課地域環境グループ 045-210-3848
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4151/>